

第5期大阪府立病院機構SPD業務委託契約 提案書等記載要領

地方独立行政法人大阪府立病院機構（以下「機構」という。）が行う総合評価一般競争入札への参加が認められた者は、本記載要領に基づき、「第5期大阪府立病院機構SPD業務委託契約」に係る提案書等（以下のとおり「提案書」、「提案書概要版」をいう。）を提出することとする。

1 提案書等の提出方法

本入札に係る提案書等について、以下の留意事項に従い提出すること。

2 提案書及び提案書概要版作成上の留意事項

(1) 様式

- ・任意様式とし、A4 縦長横書き両面とすること。

(2) ページ数

- ・提案書は、全部で概ね 50 ページ以内（図面、図表等は除く。）に収めること。
- ・提案書概要版は、全部で 10 ページ以内に収めること。
- ・提案書及び提案書概要版にはページ数を記載すること。

(3) 部数

- ・提案書及び提案書概要版は、それぞれ 10 部ずつ作成すること。
うち 1 部は正本として袋とじし、企業名等を記載の上、「総合評価一般競争入札参加資格審査申請書（様式第 1 号）」において登録した印鑑を押印し、頭に添付すること。
- ・残り 9 部は副本とし、企業名等は記載及び押印しないこと。

(4) 電子媒体

- ・CD-R を 2 部（提案書分 1 部、提案書概要版分 1 部）添付すること。
- ・電子媒体には、紙媒体で提出する文書すべてを含めること。
- ・電子媒体のデータ形式は「ワード」、「エクセル」を基本とし、それらの PDF ファイルも併せて CD-R に保存すること。

(5) 内容等

- ・表題は「第5期大阪府立病院機構SPD業務委託契約 提案書」とすること。
- ・提案者が分からないよう作成を工夫すること。
- ・記載要領に沿って記述し、提案する内容を過不足なく記述する等、編集に配慮すること。
- ・機構の提示した仕様書の全面コピー及び「仕様書のとおり」といった記述に終始しないこと。
仕様書を引用して記述する場合も、貴社の提案にかかる部分がどこにあるかが明確になるよう、表現を工夫すること。
- ・委託料の範囲内で実施できる内容に限って記述すること。委託料の範囲外のオプション業務については評価対象としない。
- ・提案書の内容に沿って契約を締結する予定であるため、そのことを踏まえて提案すること。

3 記述内容

下記の項目について、内容の過不足がないよう記述すること。

また、各項目について、他病院で実際に行った提案及びその効果があれば例示すること。なお、病院名は匿名で構わない。

(1) 機能評価項目 (☆) 必須項目：必須項目について具体的な提案がない場合は、機能評価点を0点とする。

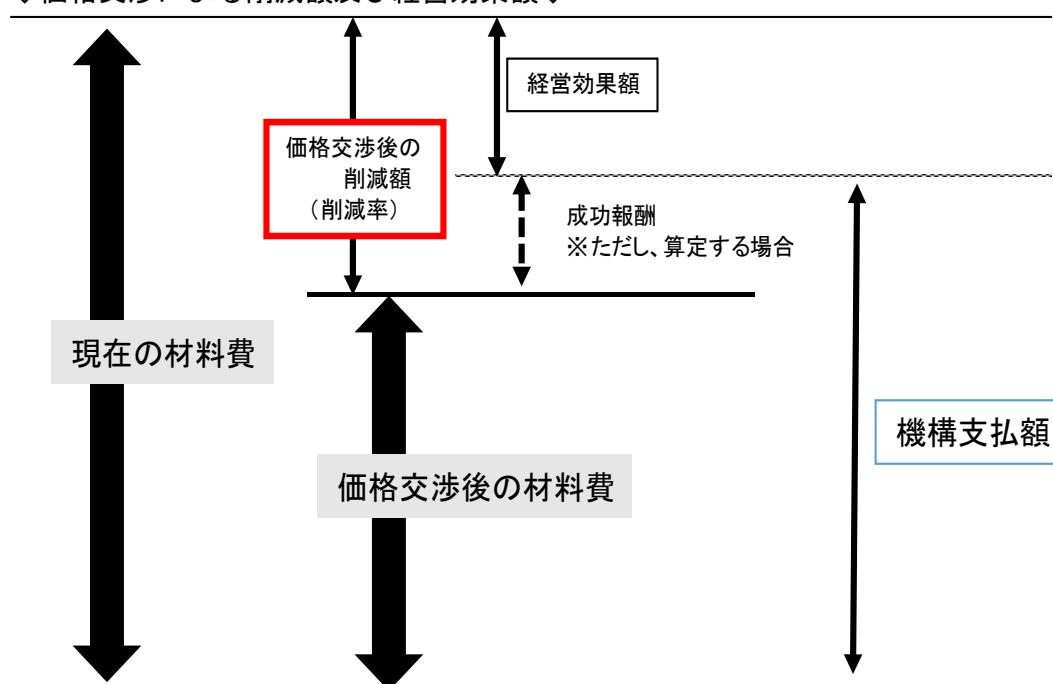
大分類		小分類	記述内容（「()」内に記載した事項を踏まえて、具体的に記述すること）
1	基本 事項 業務 運営 体制	①	本業務に対する理解 (業務パートナーとして、協調性を保ちつつ協力体制や信頼関係を築くための取組み方針や、医療の質の向上と安全性の確保、及び、コンプライアンスの遵守について、提案者の業務運営体制を記述し、当該体制による患者サービス向上に対する提案者の理解を踏まえて、具体的に記述すること。)
		②	各センターの人員配置体制、担当替え防止の考え方 (提案者側の体制（バックアップ体制含む）、及び要員の役割・実績を記述すること。また、提案した体制を維持するための対策を具体的に記述すること。)
		③	業務手順書の作成と見直し、従事者の資質向上のための教育・研修 (本業務を推進するにあたって、提案者の教育・研修体制及び内容を具体的に記述すること。また、当該教育・研修が当機構にもたらす効果（他業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。)
		④ ☆	大規模災害及びパンデミック（感染症の世界的大流行）時に備えた物品の供給体制及び参集体制等 (対応マニュアルに BCP の内容、訓練方法について具体的に記述すること。)
		⑤	物流拠点の考え方 (場所及び規模を具体的に示すこと。)
		⑥	準備期間における作業スケジュールの考え方 (準備期間中の作業スケジュール表及び準備期間を有効的に活用するための方策を具体的に記述すること。)
2	物品 調達	①	委託期間における継続的なコスト削減効果を創出するための調達計画 (機構統一価格で調達するメリットを有効に活用し、価格交渉を実施するための具体的な方策を踏まえて記述すること。)
		② ☆	提案した削減目標を達成するための物品調達の体制・方法、センターの削減効果に偏りが出ないための価格交渉の方法、価格交渉の経緯及び結果の報告方法 (提案した削減率が実現可能であるか根拠を示しつつ、実現するための調達体制及び方法やセンターの削減効果に偏りが出ないための具体的な価格交渉方法を踏まえて記述すること。)
		③ ☆	診療材料の価格の透明性確保に必要なベンチマークデータの概要と提供体制
		④ ☆	調達価格の透明性・適正性を確保することについての考え方及び手法
		⑤ ☆	業務時間外の緊急発注及び大規模事故、災害、パンデミック（感染症の世界的大流行）等の緊急時における対応方法 (業務時間外の緊急発注に対する運営方針及び災害・パンデミック等緊急時の提案者側の体制（バックアップ含む）、業務運営方針、調達手法を踏まえて、具体的に記述すること。)
		⑥ ☆	物品全般における安全性情報等の収集方法、及び、情報提供手段や、自主回収品、不具合品、欠品等のクレームへの対応方法 (提案者側から当機構（本部及びセンター）への自主回収品や欠品等の情報伝達方法を具体的に記述すること。また、回収方法及び代替品の確保に対する考え方を踏まえて、具体的に記述すること。)
		⑦ ☆	セルフモニタリングについて、効果検証に必要な実施項目及び具体的な手法

3	院内物流管理	システム運用	①	運用管理システムの提案内容 (システム構築のための提案者側の運用体制・主な特徴・安全性の確保及びシステム障害が発生した場合の対応方法を踏まえて、具体的に記述すること。)
			②	物品管理用マスタの構成内容及び管理方法 (マスタ情報の正確性や主な登録情報の種類を踏まえて具体的に記述すること。)
		供給	③	迅速かつ効率的な物品の供給管理方法 (持込材料の管理方法や院外倉庫から院内配送までの供給フロー図、カード紛失時の対応方法を踏まえて具体的に記述すること。)
			④	パッキングの単位及び方法
			⑤	必要な部署で必要な物品が必要なときに使用でき、管理形態に合わせた適切な搬送方法 (機構スタッフの発注方法・定数カード物品の発注から納品までの日数・配送フロー図・4日以上以上の休日が連続する場合の配送スケジュール・欠品時及び緊急搬送時の対応を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑥	医薬品の充填業務等、アンプルピッカー関連業務の実施方法 (破損等防止への対応・誤充填の防止策を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑦	医薬品の集計表によるピッキングやカート関連業務の実施方法 (破損等防止への対応・誤ピッキングの防止策を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑧	医薬品及び診療材料の取り違いなどの物品に係る医療過誤を防止する具体的な方策 (機構及び提案者側のスタッフへの周知方法や、事故が発生した場合の対応方法を踏まえて、具体的に記述すること。)
		物品管理	⑨	各部署における必要最少量の定数の設定方法及び管理方法及び左記方法により、物品の適切な品質を確保する方法 (定数設定の方法や定数見直し頻度及び、期限管理方法を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑩	在庫量及び在庫費用の適正化の方法・提出できる在庫関連資料の内容 (院内及び院外倉庫の在庫管理方法や上記定数見直しを踏まえた在庫削減のための方策や提供可能な在庫関連資料の内容を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑪	不動物品や期限切迫物品の返品交渉や他病院への移動等の方法 (不動物品や期限切迫物品の返品交渉基準を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑫	在庫確認や実地棚卸の頻度及び方法 (実地棚卸の方法や特に年度末棚卸の際の協力体制を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑬	共同購入の運用についての対応 (物品管理用マスタの登録・管理方法を具体的に記述すること。)
		情報提供等	⑭	後発医薬品及び診療材料における同種同効品が比較できる情報の提供内容及び方法 (切り替え時の協力体制を踏まえて、具体的に記述すること。)
			⑮	新しい医療技術や新製品に係る情報の提供内容並びにその導入支援の内容及び方法
			⑯	手術、処置等材料の標準化・セット化導入支援の内容及び方法
4	経営改善支援		①	購入実績データと保険請求実績の分析など、病院の経営の合理化、効率化に貢献する方法 (セキュリティを担保しつつ、購入実績と保険請求実績等材料費使用実績を突合できるシステムの具体的な内容を踏まえて記述すること。)
			②☆	診療報酬請求漏れ防止の方法及び効果
			③☆	材料費及び消耗品費削減のため、後発医薬品への切り替え、診療材料及び消耗品における同種同効品の集約化など、総合的な経営改善提案
			④	提供できる経営管理上必要なデータの提供内容の有益性及び提供時期の的確性 (各種委員会への出席、ベンチマークの提出等)
			⑤	医療制度の変化等への柔軟な対応

(2) 入札書内訳 記述内容

別紙		様式	記 述 内 容
1	委託料の内訳書 材料費の内訳書	様式 6-2 様式 6-3	<p>提案書に記載された内容についての経費を、以下の事項等に留意のうえ項目ごとに一覧表で示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内物流管理に要する費用の考え方や算定方法 ・物品調達業務（価格交渉業務含む）に要する固定的費用の考え方や算定方法
2	材料費削減効果及び成功報酬	様式 6-4	<p>・下記「価格交渉による削減額及び経営効果額」を参照の上、医薬品、検査試薬、診療材料について委託期間における削減率等について記述すること。</p> <p>・削減率については、診療報酬改定の影響による削減率及び価格交渉による削減率の2項目に分けて記述すること。</p> <p>なお、診療報酬改定に伴う薬価及び償還価格改定率について、令和8年度の診療報酬改定による薬価改定率を「-5.12%」及び償還価格改定率を「-1.26%」とし、令和9年度はそれぞれ「-5%」であることを前提として提案すること。</p> <p>・患者及び取扱物品の増減や後発医薬品の採用の増加による材料費の変動は、ここでの削減率の提示とは無関係とする。</p> <p>（提案した削減率を達成するための調達体制等については、任意様式による提案書に記述すること）</p> <p>・価格交渉後の削減額に対して成功報酬を提案する場合は、各年度の成功報酬算定率と成功報酬額について、記述すること。</p> <p>（報酬額の請求・決済方法については、任意様式による提案書に記述すること。）</p>

◇価格交渉による削減額及び経営効果額◇



※ 提案にあたっての参考資料として、秘密保持に関する誓約書提出の上、令和7年3月31日時点のSPD資産在庫データ及び令和6年度購入物品一覧を配付する。